

消えないミツの味



肉山崎

エスカ

消えないミツの味

肉崎 エスカ



うっとおしいわあ
ジャマなところから
蹴られんぬやろ



今日もよう売れたなあ
何かアホばかりで
だましがいいわ



「♪ まだまだ 青い アタリの子
お前の味が 知りたいよ
きつと 真っ赤に 染まったら
アタリの舌は 狂うのさ」



「やめんかい
気色悪……！」



「これは迷惑料や」

別にいらんけど

大事そうに

してるしな

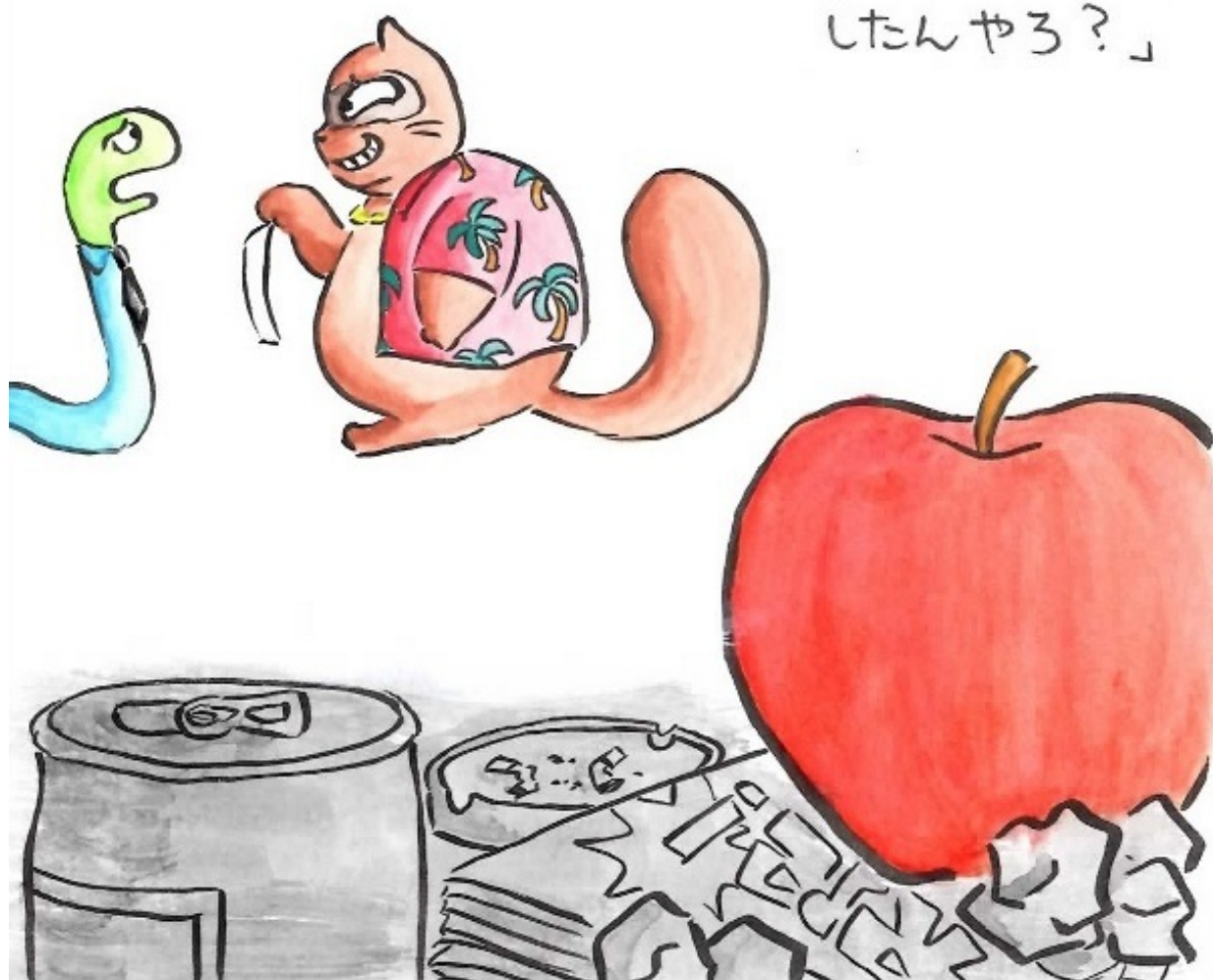


「そうね アタシより アナタのほうが
おいしくなるわ 」



まだ何か
言うてるし

「あんたが サイン
したんやろ？」



「知らんなあ 自分ら当たり屋 ちゃうの」



「奥さん 悲しむやろなあ
.... それでもやるんかい」



こいつからも
まだ 取れそうやな





気のせいか？
めっちゃ視線…



うわっ!

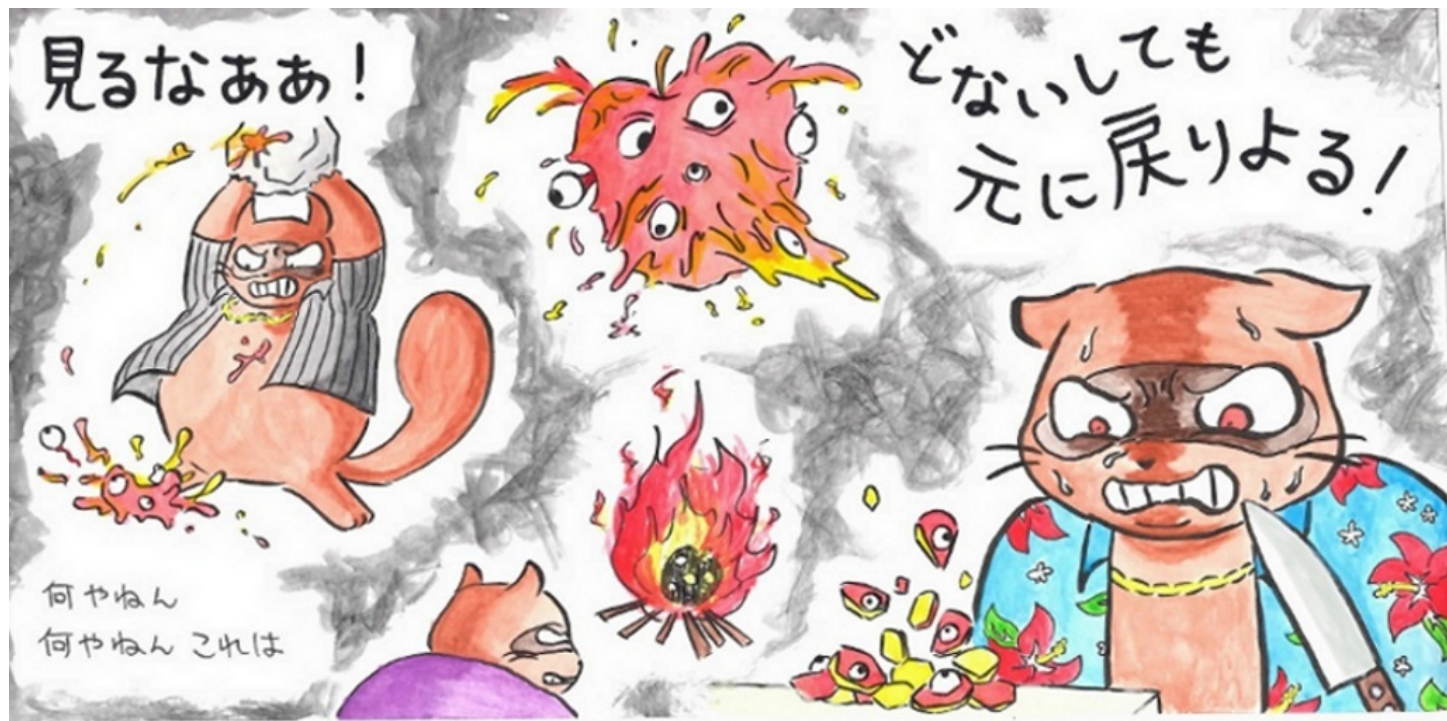
誰のイタズラや趣味悪い

あのときの客か？

その前の奴か？







見るなああ!

どないしても
元に戻りよる!

何やねん
何やねん これは

「まあ 随分 おいしそうになったわね」



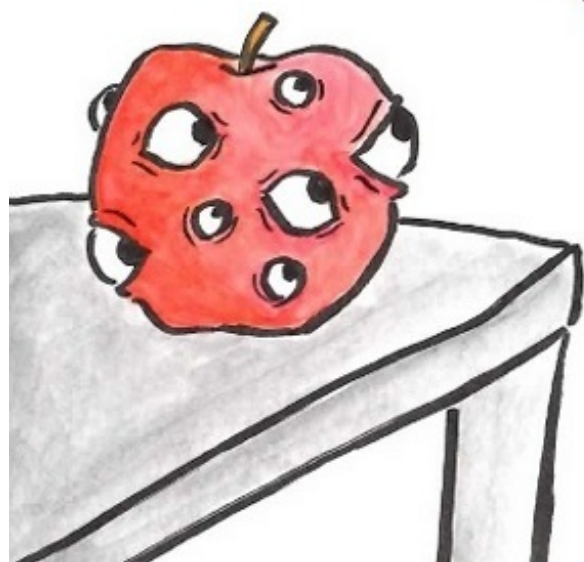
思い出した こいつのせいや！
「おいコラ 忘れもんじゃあ」



ああ スッとした



「ひゃあ！」



な な 何ぞや
何やねんこれ....



「その子を消すには食べるしかないわ」





「なあ 見たか？」



「あのタヌキ 気がふれたんだぜ」

「もちろん見に行ったよ。ウワサじゃ
りんご食ったのが原因らしいぞ」



「何だろうなあ」

